

岐阜県不破郡関ヶ原町今須における 祝言のあいさつ

江端義夫

○はじめに

1. 対象地の地理的環境：関ヶ原町は、東西日本の結節点にあり、伊吹山地と鈴鹿山地とに挟まれた森林地帯で、古来交通や軍事の要衝と見なされて来たところである。古代には不破の関が置かれ、近世には、中仙道の宿場町として、今須宿と関ヶ原宿とが置かれた。
2. 対象地の社会的経済的環境：昭和29年9月1日付けで、今須村と玉村と岩手村と関ヶ原町とが合併して、新しく関ヶ原町が成立した。今須と関ヶ原町とは、約4km隔たっており、中間に低い峠がある。
3. 生業：昭和63年版の『全国市町村要覧』（第一法規、昭和63、9、30）によれば、産業別人口比は、1次8%、2次50%、3次42%であり、岐阜市の3次61%に比べて、きわめて都市化が遅れている。今須では、昭和10年代に養蚕も盛んであった。今は、兼業中心だが、小規模の農林業の家が多い。
4. 交通：関ヶ原町内を東西に旧中仙道が走り、国道21号線と合流している。JR東海道本線関ヶ原駅がもよりの駅。
5. 人口：昭和3年（1928）4月1日には、関ヶ原町全体で1万718人の人口があった。しかし、昭和63年3月31日現在では、それが9798人に減少している。さらに減少の一途をたどりつつある。
6. 調査年月日：1991年1月28日
午前10時18分～午後1時30分
7. 方言話者：田中秋夫 大正12年11月1日生（67歳） 農業、（以下、Tと略称。）
中野絹代 昭和3年12月23日生（62歳） 地付きの主婦。（以下、Nと略称。）
以上の他に、中野絹代氏のご主人の中野博（大正15年10月25日生）氏が同席。
8. 調査者、調査場所：江端義夫。中野博氏宅で調査。
9. 調査方法：質問法。

I. 結納授受のあいさつ

1. 仲人が新婦の家に結納を持参した時、座敷で、その家の主人（新婦の父親）に向かって、どのようなあいさつをしますか。

○コフ タビワ マー ヌータク オハナシガ トトノイマシデー オヌ
デトー ゴザエーマス。ゴユイノーヂー モツデ アガリマシタノデ
下ーカ イクヒサシク アノー ゴジユノー クダサイマセ。この度は、
めでたくお話が整いまして、おめでとうございます。ご結納を持って上
がりましたので、どうか幾久しくご受納くださいませ。（老男→初老男、
試演）<古><上品位><高待遇><あらたまり><稀>（T）

2. その家の主人（新婦の父親）は、仲人に応えて、どのようなあいさつをしますか。

○コフ タビワ アノー タイヘン イロイロ下 オセワン ナリマシデ
ー マー アノ フツズカナ アノー ムヌヌデ ゴサイマス下ー
ヒ下ツ ヨロシク オネガイ シマス。ヒ下ツ ヨロシク アノー オ
ネガイ シマス。この度はあのう、大変色々とお世話になりまして、ま
あ、あのう、不束な娘でございますけれども、ひとつ宜しく願いま
す。ひとつ、宜しく、あのう、願います。（初老男→老男、試演）
<古><上品位><かしこまり><高待遇><稀>（T）

3. その時の新婦のあいさつがあれば、記してください。

○アリガトー ゴザイマシタ。ありがとうございました。（新婦→仲人、
試演）（T）

○ヨロシク オネガイ シマス。宜しくおねがいます。（新婦→仲人、
試演）（T）

○オシェワン ナリマスデ ヨロシク オネガイ シマス。お世話にな
りますので、宜しく願います。（新婦→仲人、試演）<新><高待遇
><盛><かしこまり>（T）

新婦は、簡単なお礼を言う程度に留めるのが、普通である。

II. 嫁をもらう家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁をもらうことが決まった家の人に道で出会って、近所の人たちはど
のようなお祝いのあいさつをしますか。

○アンタン トコ ヨカツタ ネー。あなたのところ、良かったねえ。（
初老女→同、試演）<中品位><親情><盛>（N）

敬語を使えば疎遠にされるとの理由で、上のように簡素に言う。ただし、気

づまりで親しくない相手に対しては、次のように言う。

○ケッコーナ ゴエンガ キマリマシタワデー……。結構なご縁が決まりましたそうで……。(老女→同、試演) <古> <高待遇> <かしこまり> <敬遠> <稀> (N)

特に男性は、嫁をもらう家の人と街頭で出会っても、それを話題にしない。

2. 嫁をもらう家の人には、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。

○オカゲサンデ ヨカッタ ワ。ドーゾ ヨロシク オネガイシマス。おかげさまで良かったわ。どうぞ宜しくお願いします。(老女→同、試演) <新> <親情> <中待遇> <中品位> <盛> (N)

○アリガトー ゴザイマス。ホントニ アレヤ ワチー。コレデ ヤットカタノニ オリタ ワチー。ありがとうございます。本当に何ですよ。これで、やっと肩の荷が下りたよねえ。(老男→老女、試演) <中待遇> <新> <親情> (T)

訪問して正式に挨拶するときと違って、道路上で、このような話題を交わすことは、無礼とされる。

Ⅲ. 嫁に出すことが決まった家の人へのお祝いのあいさつ

1. 嫁に出すことが決まった家の人に、近所の人たちはどのようなあいさつをしますか。

2. 嫁に出す家の人には、そのあいさつに答えて、どのようなあいさつをしますか。

結婚式が正式に済むまでは、これを話題にするのをひかえるのが礼儀である。

Ⅳ. 結婚式当日のあいさつ

結婚式当日、結婚式に出席した人たちは(親戚以外)、どのようなあいさつをしますか。

1. 新郎の父親にどのようなあいさつをしますか。

○キョンジツワ(注1) マー オヒガラモ ヨロシテ ケッコーナ ゴエンガ トトノイマシデー マコ下ニ オヌデトー ゴザイマス。ゴデーネーニ オマネキニ アズカリマシテ アリガトー ゴザイマス。(「ここでお祝いの金を渡す。」)サショーデ ゴザイマス下下 ホンノ オイウェア シルシデ ゴザエーマス。本日はまあ、お日柄も宜しくて、結

構なご縁が整いまして、誠におめでとうございます。ご丁寧にお招きにあずかりまして、ありがとうございます。些少でございますけれど、ほんのお祝いの印でございます。(年長者→老男、試演) <古> <高待遇> <かしこまり> <盛> (N、T)

隣家の組毎に集まり、その中の年長者が代表して、上のようなあいさつを行う。

1-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ホソジツワ タイヘン オイソガシーノニ アノー ゴアサオ カテマシデー マコトニ アリガトー ゴザイマシタ。マタ タイヘン オイワイオ ネー。イタダキマシデー アリガトー ゴゼアーマス。マーヒ下ツ ヨロシユー オネガエー シマサー。本日は大変お忙しいのに、あのう、ご造作を掛けまして、誠にありがとうございました。又、大変お祝いをね。いただきましてありがとうございます。まあ、ひとつ宜しく願います。(老男→同、試演) <古> <かしこまり> <高待遇> <上品位> <稀> (T)

2. 新婦の父親にどのようなあいさつをしますか。

○ケッコーナ ゴエンデ ホントニ アレデス ネー。マーヒ下ツ オヌデトー ゴザイマシタ。結構なご縁で、本当になんですねえ。まあ、ひとつ、おめでとうございました。(老男→初老男、試演) <中待遇> <中品位> <親情> (T)

○ケッコーナ ゴエンガ ト下ノイマシデー マコトニ オヌデトー ゴザイマス。結構なご縁が整いまして、誠におめでとうございます。(老男→初老男、試演) <中待遇> <中品位> <あらたまり> <古> <稀> <簡易> <T>

○ヨソニチワ モー オヒガラモ ヨロシク オヌデトー ゴゼアーマス。今日はお日柄も宜しく、おめでとうございます。(老女→初老男、試演) <高待遇> <かしこまり> <新> <一般的> (N)

2-2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ナンニモ モー オシエテ ナイデ 下ーカ モー ヨロシク オネガイ シマス。何も教えていないので、どうかも、宜しく願います。(初老男→老男、試演) <謙遜> <かしこまり> <高待遇> <中品位>

○キママデ フツツカ ムヌヌデスケド ヒ下ツ ドーカ シ下ツ アノー オモワ シデー アノー オネガイ シマス。気儘で不束な娘ですけど、ひとつどうか、ひとつ、お世話して、願います。(初老男

→老男、試演) <高待遇><かしこまり><上品位><古><謙遜>(T)

かりに、娘に立派な教養を身につけさせていても、新婦の父親は、このようにへり下った言い方をするのが、礼儀となっている。

V. 結婚式後、姑が新婦を連れて近所へあいさつに回る時のあいさつ

1. 結婚式後、姑が新婦を連れて、近所の家にあいさつをして回る時、姑はどのようなあいさつをしますか。

風呂敷きを一枚、手土産として手渡し、次のように言う。

○下ゾ 百ロシク オネガイ シマス。どうぞ宜しく、お願いします。

(初老女→同、試演) <中待遇><中品位><簡素><新>(N)

○コンド 手テ マタ コレ フツツカナ モアデスケド ドーゾ 百ロシユ。今度来て、又、これは不束な者ですけれど、どうぞ宜しく(願います)。(初老女→同、試演) <中待遇><中品位><古><やや丁寧>(T)

姑が嫁を連れてあいさつ回りをし、舅が婿養子を連れてあいさつ回りをする。これが、当地の正式なやり方である。

2. そのあいさつに応えて、近所の人にはどのようなあいさつをしますか。

○エー シト キテ モラッテ…。良い人に来てもらって…。(初老女→同、試演) <中待遇><簡素><新>(T)

簡単な誉めことばで返すことが多い。

VI. 嫁を迎えた家の人へのお祝いのあいさつ

1. 10日ほど前に、長男(29歳)に嫁をもらった60歳台の父親へ、結婚式に招かれた50歳台の女性が、昼下がりの路上で、どのようなお祝いのあいさつをしますか。

○センジツワ オマネキニ アッテ タイヘン ゴチソーニ ナリマシテ
ー センジツワ オヌデトー ゴゼアーマシタ。先日はお招きにあって、大変ご馳走になりまして、先日は、おめでとうございました。(初老女→老男、試演) <古><かしこまり><高待遇><上品位><一般的>(T)

○オタクモ オダエドコロガ オニギヤカン ナリマシテ オヌデトー
ゴゼアーマス。お宅もお台所が賑やかになりまして、おめでとうございます。(初老女→老女、試演) <中待遇><中品位><一般的><昭和

1 桁生まれの女同士に盛ん><古> (N)

2. 父親は、それに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ソフ モツワ タイヘン 不。オイソガシ ナカ キテ イタダイ
テ アリガトー ゴザイマシタ。その節は大変ねえ。お忙しい中を来て
いただいて、ありがとうございました。(老男→初老女、試演)<高待
遇><上品位><男女共通><一般的> (N、T)

VII. 結婚式後の仲人へのあいさつ

1. 結婚式後、仲人の所へ新郎新婦(あるいは両親)がお礼に行った時、
どのようなあいさつをしますか。

○ケッコシキニワ モー イロイロ オモワン ナリマシテ 不。ア
リガトー ゴゼアーマシタ。結婚式には、もう、いろいろお世話になり
ましてねえ。ありがとうございました。(新郎新婦→仲人、試演)<中
待遇><中品位><かしこまり><一般的> (N)

○タダイマ カエッテ マイリマシタ。ケッコシキニワ オモワン チ
リマシタ。マー コレカラ ガンバッテ ヤッテ イキマスデ マー
ヒ下ツ ヨロシク オネガイシマス。只今、帰って参りました。結婚式
には、お世話になりまして、まあ、これから頑張ってやっておりますの
で、まあ、ひとつ宜しくお願いします。(新郎新婦→仲人、試演)<高
待遇><あらたまり><上品位><一般的> (T)

他方、両親が仲人宅へご挨拶に行くときには、

○タイヘン オセラン ナッテ アノ オカゲサンデ マー アノー
シンコンリョコー モッテ カッテ キタジー ナントカ ヤッテ
クレルヤデ コンゴトモ ドーゾ ヨロシク。コンゴトモ マタ オモ
ワン ナルト オモーデ ヨロシク。大変お世話になって、あのう、お
かげさまで、新婚旅行から帰って来たし、何とかやってくれるようなの
で、今後ともどうぞ、宜しく。今後とも、又、お世話になると思うので、
宜しく。(両親→近しい仲人、試演)<中待遇><中品位><うちとけ
><簡素> (T)

のように、長文となる。

2. 仲人はそれに応えて、どのようなあいさつをしますか。

○ヨカッタ チー。コレカラモ イッショーゲンメーニ ヤッテ 不。
ナカヨク ヤッテ モラワニヤ。仲良くね。これからも、一所懸命にや
ってね。仲良くやってもらわなくては。(仲人→新郎新婦、試演)<下

待遇><うちとけ><中品位><新>(T)

VI. 嫁のはじめての里帰りのあいさつ

1. 嫁がはじめて里帰りする時、どのようなあいさつをしますか。

○オヤモトエ チョット イカサシテ モラウデー ヒ下ツ ヨロシユー
…、親元へ、ちょっと行かせてもらうので、どうか宜しく(お願いします)。(嫁→義父母、試演)<中待遇><中品位><うちとけ>(T)

○ヤラサシテ モライマス。親元へ還らせてもらいます。(嫁→義父母、試演)<中待遇><中品位><うちとけ>(T)

他人行儀を避けようとする心配りが現れている。

2. 両親は、それに応じて、どのようなあいさつをしますか。

○サ下フ ゴリョーシンニ ヨロシユー ツタエテ クレー。里のご両親に、宜しく伝えてくれよ。(義父母→新郎新婦、試演)<下待遇><中品位><新><簡素><心遣い>(T)

○おわりに

関ヶ原町今須では、組みごとの家々とのつき合いが、昔ながらに残っており、それに伴うゆかしい習慣が留められている。したがって、新しいやり方の結婚式も増えたが、なお隣近所とのおつき合いは、大切に守られている。しかし、しだいに今須らしい丁重なもの言いでは生活する古老がいなくなり、市販の本に載っているような口上を聞く機会が多くなったと言われる。

(注1) キョンジツ: これは、「今日」(きょう)と「本日」(ほんじつ)との混交によって成立した合成語と見られる。土地の習慣的な語か臨時的な語かは、確認できていない。

- 広島大学教育学部 -